2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月10日

上場会社名　　株式会社電算システムホールディングス　　上場取引所　東 名
コード番号　　4072　　ＵＲＬ　https://www.ds-hd.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）小林　領司
問合せ先責任者　（役職名）取締役経営企画室長　　（氏名）八島　健太郎　　ＴＥＬ　058－279－3456

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	51,645	2.9	2,872	7.3	3,105	9.7	2,119	△5.2
2025年12月期第３四半期	50,180	11.2	2,677	83.2	2,830	74.5	2,235	163.8

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　2,227百万円（△3.4%）　2025年12月期第３四半期　2,306百万円（162.2%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	197.63	－
2025年12月期第３四半期	209.31	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	82,828	26,130	31.3
2025年12月期	69,112	24,881	35.6

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　25,913百万円　2025年12月期　24,637百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	40.00	－	50.00	90.00
2026年12月期	－	50.00	－		
2026年12月期（予想）				50.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	2.7	3,650	0.7	3,850	0.2	2,620	△9.6	244.11

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　ー社　（社名）、除外　ー社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	10,800,677株	2025年12月期	10,798,341株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	60,611株	2025年12月期	90,541株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	10,724,307株	2025年12月期３Ｑ	10,681,554株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、添付資料Ｐ．２「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調が続いたものの、長引く物価高や為替相場の変動に加え、中東地域等の地政学的リスクに伴う資源価格の動向や海外景気の下振れ懸念などにより、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。このような経営環境において当社グループは、「共創」で新たな価値を創造し、社会に貢献することを経営理念として、さらなる業容の拡大と成長を志向し、継続的な営業努力と効率的な事業運営に努め、経営計画の達成を目指してまいりました。

その結果、当第３四半期連結累計期間における経営成績は、売上高51,645百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益2,872百万円(前年同期比7.3%増)、経常利益3,105百万円(前年同期比9.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,119百万円(前年同期比5.2%減)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

（情報サービス事業）

SI・ソフト開発・商品販売分野は、オートオークション業向けシステム案件が好調に推移したほか、その他SI案件も堅調に推移いたしました。クラウド・ライセンス分野は、引き続きGoogle Workspace、Google Cloud Platformなどの各種クラウドサービスが堅調に推移いたしました。また、導入支援・移行サービスを含んだ案件の好調に伴いエンジニア稼働が高水準で推移したため利益も増加いたしました。一方、仕入原価の値上がりの影響もあり、提供価格の見直しや周辺サービスの追加提案等、通期利益確保に向けた活動を継続してまいります。BPO分野は、大型顧客のペーパーレス化やネット通販普及による影響を受けたものの、東濃BPOセンターを基軸とした帳票作成代行の新規・既存案件の着実な開拓を進めるとともに、運用効率化や人員配置の最適化を徹底し、社外委託費用の削減を推進いたしました。

以上の結果、情報サービス事業の売上高は33,079百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益は1,158百万円(前年同期比91.3%増)となりました。

（収納代行サービス事業）

主力のコンビニ収納オフライン決済は、地方自治体向け案件の獲得や利用拡大が進んだものの、既存の一般企業向け案件の減少傾向を補うには至らず売上高は前年同期を下回りました。利益面は、後払い事業における市場競争の激化に伴う新規顧客獲得の遅れや、一部の仕入れ単価上昇や金利上昇に伴う収納金管理コストの増加に加え、今後の新たな決済インフラ拡充に向けた研究開発活動を積極的に実施したことなどが影響し、前年同期比で減益となりました。

以上の結果、収納代行サービス事業の売上高は18,565百万円(前年同期比1.2%減)、営業利益は1,703百万円(前年同期比17.6%減)となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

当第３四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して13,716百万円増加し、82,828百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,410百万円減少したものの、金銭の信託が11,503百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が1,220百万円、前払費用が768百万円増加したことによるものであります。

当第３四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して12,467百万円増加し、56,698百万円となりました。これは主にその他流動負債が423百万円減少したものの、収納代行預り金が9,885百万円、契約負債が1,740百万円、未払法人税等が672百万円増加したことによるものであります。

当第３四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して1,248百万円増加し、26,130百万円となりました。これは主に利益剰余金が1,039百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年２月９日の「2025年12月期　決算短信」にて公表した業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,666	21,255
金銭の信託	17,319	28,822
受取手形、売掛金及び契約資産	11,237	12,457
商品及び製品	579	1,195
仕掛品	345	798
前払費用	7,806	8,575
その他	1,075	873
貸倒引当金	△31	△40
流動資産合計	60,999	73,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,136	1,046
土地	791	791
その他（純額）	641	593
有形固定資産合計	2,568	2,431
無形固定資産		
のれん	594	472
顧客関連資産	464	428
ソフトウエア	618	684
ソフトウエア仮勘定	297	708
その他	0	0
無形固定資産合計	1,974	2,294
投資その他の資産		
投資有価証券	2,811	3,388
繰延税金資産	285	306
差入保証金	443	444
その他	116	126
貸倒引当金	△87	△101
投資その他の資産合計	3,569	4,164
固定資産合計	8,113	8,889
資産合計	69,112	82,828

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,610	6,963
短期借入金	－	100
１年内返済予定の長期借入金	131	107
未払法人税等	260	933
契約負債	10,728	12,468
収納代行預り金	22,288	32,173
賞与引当金	92	473
役員賞与引当金	－	20
受注損失引当金	62	24
株主優待引当金	44	0
その他	2,789	2,365
流動負債合計	43,008	55,631
固定負債		
長期借入金	498	357
繰延税金負債	164	151
役員退職慰労引当金	152	160
退職給付に係る負債	101	107
債務保証損失引当金	18	20
資産除去債務	26	26
その他	260	243
固定負債合計	1,222	1,067
負債合計	44,230	56,698
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,503	2,510
資本剰余金	2,628	2,628
利益剰余金	19,356	20,396
自己株式	△284	△189
株主資本合計	24,204	25,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	433	568
その他の包括利益累計額合計	433	568
非支配株主持分	244	216
純資産合計	24,881	26,130
負債純資産合計	69,112	82,828

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	50,180	51,645
売上原価	41,997	43,029
売上総利益	8,182	8,616
販売費及び一般管理費	5,505	5,743
営業利益	2,677	2,872
営業外収益		
受取利息	44	87
持分法による投資利益	－	15
受取配当金	16	20
受取手数料	22	99
投資有価証券売却益	15	21
投資事業組合運用益	126	－
為替差益	－	4
債務時効益	7	6
その他	12	7
営業外収益合計	244	263
営業外費用		
支払利息	16	13
持分法による投資損失	32	－
投資事業組合運用損	－	11
固定資産売却損	2	4
為替差損	17	－
デリバティブ評価損	1	－
貸倒引当金繰入額	20	－
その他	0	0
営業外費用合計	91	30
経常利益	2,830	3,105
特別損失		
関係会社株式売却損	15	－
特別損失合計	15	－
税金等調整前四半期純利益	2,814	3,105
法人税、住民税及び事業税	514	1,145
法人税等調整額	57	△132
法人税等合計	571	1,013
四半期純利益	2,243	2,092
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	△27
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,235	2,119

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	2,243	2,092
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63	135
その他の包括利益合計	63	135
四半期包括利益	2,306	2,227
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,298	2,254
非支配株主に係る四半期包括利益	7	△27

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	情報サービス事業	収納代行サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,389	18,790	50,180	－	50,180
セグメント間の内部売上高又は振替高	18	0	18	△18	－
計	31,408	18,791	50,199	△18	50,180
セグメント利益又は損失（△）	605	2,067	2,673	3	2,677

（注）１．セグメント利益の調整額は、報告セグメントが負担する管理部門費の配賦差額であります。

２．セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	情報サービス事業	収納代行サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,079	18,565	51,645	－	51,645
セグメント間の内部売上高又は振替高	44	0	44	△44	－
計	33,124	18,565	51,689	△44	51,645
セグメント利益又は損失（△）	1,158	1,703	2,862	9	2,872

（注）１．セグメント利益の調整額は、報告セグメントが負担する管理部門費の配賦差額であります。

２．セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）
当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	532百万円	537百万円
のれんの償却額	85	122